

◇ 進度

教科(科目)	家庭 (児童文化)	実施学年 (履修規定)	第2学年 選択
単位数	福祉科 2単位	教科書	児童文化 (文部科学省 教育図書)
		副教材	
科目の目標	子どもと遊び, 子どもの表現活動, 児童文化財などに関する知識と技術を習得させ, 児童文化の充実を図る能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童文化の意義を理解させた上で, 実習により体験的に理解させる。 ・表現活動や関連する児童文化財の中から, 造形と表現を取り上げ, 実習する。 ・児童福祉施設, 社会教育施設等において介護実習することと関連づける。 ・子どもの遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達とのかかわりについて理解させること。 		

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	児童文化の意義	○児童文化とは ・児童文化の意義 ・児童文化の歴史	授業観察	・子どもにとっての児童文化の意義を理解している。
5	子どもと遊び	○遊びとこどもの発達 ・遊びの魅力と特徴 ・遊びの意義と機能 ・子供の発達と遊び	授業観察 小テスト	・発達段階と遊びの関係を理解している。 ・遊びの種類を知っている。
6		○遊びの現状 ・遊びの場 ・遊びの実態 ・遊びと遊具・玩具	遊び調べ 保育検定 (造形)	・遊びの種類や適時性を理解している。 ・手作り玩具を作ろうとする。
7		・遊びと伝承		
	期末考査			
	基礎実習(前期)	前期10日間 (7/17~7/31) 前期後期 於: 児童福祉施設, 社会福祉施設		・利用者や職員とコミュニケーションは図られている。
8	夏季休暇			
	基礎実習(後期)	後期13日間 (9/12~10/3)		
9			授業観察 レポート	・利用者の状況を観察できる。
10	子どもの表現活動と児童文化財	○児童文化財の理解 ・造形表現活動 ・言語表現活動 ・音楽・身体表現活動 ・情報手段などを活用した活動	授業観察 作品提出	・児童文化財を用いて保育活動をしようとする。 ・グループで協力して表現活動ができる。
11		○造形表現活動 ・造形教育の歴史 ・子どもの発達とつくる活動	保育検定 (表現)	・保育検定に意欲的に取り組む。
12		・歌う, 踊る, 演奏する。		
	期末考査			
	冬季休暇			
1		○表現活動の実際 ・子どもと文学 ・紙芝居, 絵本, ビデオ	レポート	・現代の児童文化財を理解している。
2		○現代の子どもの生活と文化 ・テレビ, キャラクター, ゲーム ・子どもと年中行事	調査レポート 授業観察	・子どもの遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達段階に応じた子ども文化を理解している。
3	学年末考査			

評価の観点及び趣旨

① 関心・意欲・態度

社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、実践して主体的に学ぼうとする。また、介護実習を通じて介護専門職の職業観、勤労観を持つ。

② 思考・判断

社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、統合的に思考し判断できる。

③ 技能・表現

社会福祉や介護に関して学んだ基本的知識や技術を活用して、高齢者や障害者の総合的介護において、統合的に援助の技術を用いて、適切に表現する。

④ 知識・理解

福祉施設における高齢者や障害者の介護や福祉制度のあり方について科学的に理解する。

「社会福祉実習」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	25%程度	② 思考・判断	25%程度
③ 技能・表現	25%程度	④ 知識・理解	25%程度